



(家庭学習のすすめ 編)

1. 家庭学習の目的

- (1) 学校で学習した内容をより確かなものにする。
- (2) 自ら学ぶ力を身につける。
- (3) 自分の苦手な教科・分野を自分で補う。
- (4) 学習した内容を生活に生かす。

2. 家庭学習とは

家庭学習 = 宿題 + 自主学習
(宿題) 学校(先生)から出される課題 (自主学習) 自分で計画を立て実行する課題



3. 自主学習について

☆目的
・家庭学習の習慣を身につける。
・取り組みを工夫し、学力向上に役立てる。

☆自主学習ノート(自学ノート)について
開始時期…小学校3年生ぐらいいから
☆方法
・ノートを毎日提出(小学校は適宜)
・時間は30分程度
・題名・日付・取り組んだ時間を記入する。

☆内容
・ドリル学習(漢字・計算・英単語等)
・授業の予習復習
・表現力を高める学習(作文・日記・詩等)
・読解力や表現力を高める学習(新聞記事・資料集等の視写)
・課題解決学習(まとめる・問題を解く)等

◇雄飛学園が考える家庭学習のシステム

『雄飛学園』の 学びの段階	小学校低学年			小学校中学年		小学校高学年		中学校						
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3					
	学びの土台作り									自己学習力育成				
家庭学習における 段階について	教師が出す宿題を実行する。						教師の指導・援助のもと、自分で 家庭学習の計画を立て実行する。			自分で学習計画を立てて実行する。 自らの進路目標を決め、自主的に取り組む。				
ポイント（重点）	・机について学習する。 ・必ず提出する習慣を身につける。 ・体系的な活動を取り入れる。 （ex.読書・学習内容の関連した生活体 験やお手伝い等）			・少しずつ学習時間を増やし集中してできる。 ・計画を立て自分から進んで取り組む姿勢を持 つ。 ・自学の習慣を身につける。		・自主学習の仕方に慣れ、発展させる。 ・計画を立て自分から進んで取り組む、より 高い学習をめざす。		・教科ごとの家庭学 習の仕方が分かる。 ・授業の復習を中心 に自学の習慣をつ ける。		・時間設定・学習方 法など自分にあっ た学習方法を確立 していく。 ・興味のある内容を さらに深く学習する。		・自分の進路を見据 え目標を立て、計 画に従って学習する。 ・自分の生活を見直し て計画を練り直す。		
家庭学習時間のめやす	30分			45分		60分		学年＋1時間						
家の人のかわわり	○ いっしょに調べ、いっしょに学習する姿勢で見守りましょう。 ○ どんなことを学んでいるのか、どこが分かっていないのか、関心を持ちましょう。 ○ 学習環境を整えましょう。（場所ではなく場の環境 家族もいっしょに静かに何かに取り組んでいただける とすてきです） ○ 子どもの頑張りを見つけて、認め、ほめましょう。（連絡帳や音読カード等のチェック）											○ 自主性を尊重した声かけをしましょう。 ○ 学習に集中できる環境作りをしましょう。 ○ 家庭での時間の過ごし方についての約束事を決めましょう。 ○ 定期テストや実力テストの成績記録を確認し、承認の言葉で励 ましましょう。 ○ 進路について一輪に考え、情報を共有しましょう。		

(規範意識の定着 編)

規範意識とは…集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする意識です。

『きまりを守る』		『節度ある生活をする』		『礼儀正しく人と接する』	
学校		学校		学校	
学習のきまり		時間を守ること		あいさつ・返事	
○休み時間に学習の準備をし、チャイムが鳴るまでに着席する。 ○背筋を伸ばし、先生の話や友だちの発表をしっかりと聞く。 ◎家庭と連携したいこと 前日に学習準備、宿題や家庭学習、予習・復習 保護者の皆様へお願い！ ・前日に学習の準備の確認をしてください。 ※忘れ物をしないことは最低限度の礼儀です。		○登校時刻を守る。 ○授業の始まりのチャイムを守り、学習や活動を考えて行動する。 ◎家庭と連携したいこと 自起床、帰宅時刻を守る、テレビやゲームの時間 保護者の皆様へお願い！ ・テレビやゲームの時間を守らせましょう。 ※メラビアンの法則を守り、学習環境を整えましょう。		○相手の顔を見て、自分からはききあいをする。(中学生は時と場に応じて) ○時と場に応じた気持ちの良いあいさつをする。(小1～4年は「はい」の返事を) ◎家庭と連携したいこと きちんとした返事、あいさつの言葉 保護者の皆様へお願い！ ・親子で毎日、あいさつを交わしてください。 ※親の気持ちのいいあいさつで、子どもは育ちます。	
家庭		家庭		家庭	
生活のきまり		整理・整頓		言葉づかい	
○人の集まる場所では静かにして、話を聞く。(朝会、集会、集団行動) ○身だしなみをきちんと整える。(名刺、防犯ブザー、帽子、制服、頭髪など) ◎家庭と連携したいこと 早寝早起き、身だしなみ、毎日の手伝い 保護者の皆様へお願い！ ・登校前に、身だしなみをチェックしてください。 ※服装の乱れは、心の乱れです。		○はきもの(くつ、スリッパ)をそろえる。(自分以外のことに目も向ける) ○机やロッカーの整理・整頓をする。 ◎家庭と連携したいこと 自分の部屋や衣服の整理・整頓、はきものそろえ 保護者の皆様へお願い！ ・子どもの部屋・衣服の整理整頓を確認してください。 ※環境が人をつくります。		○「～です」「～ます」をつかって丁寧な言葉づかいをする。 (場面に応じた敬語) ○相手の気持ちを考えた言葉づかいをする。 ◎家庭と連携したいこと 「ありがとう」「ごめんね」「ごめんなさい」、家庭での言葉づかい 保護者の皆様へお願い！ ・「あいさつ」「ごめんね」「ごめんなさい」を言い合える雰囲気を作しましょう。 ※感謝の心、反省の言葉あひますか？	

(ちよっと一言)



- ※時間を守ること、整理整頓については、平素から家庭と学校の連携が不可欠です。特に低学年は家庭と学校が協力して、個別に指導しながら節度ある生活の習慣化を図ることが大切です。
- ※中学校においては、問題行動を起こす生徒もでます。そのため、低学年の段階から規範意識を身につけましょう。
- ※互いに相手を思いやる呼び方や言葉遣いを指導するためには、将来自立した大人になるために大切です！
- ※「あいさつ・返事」「言葉づかい」については、小さい頃からの家庭での雰囲気が大きく影響します。
- ※日頃から率先したあいさつ、子どもからの呼びかけに対する「はい」という返事、丁寧な言葉づかいなど、大人である私たちの心がけが大切です。